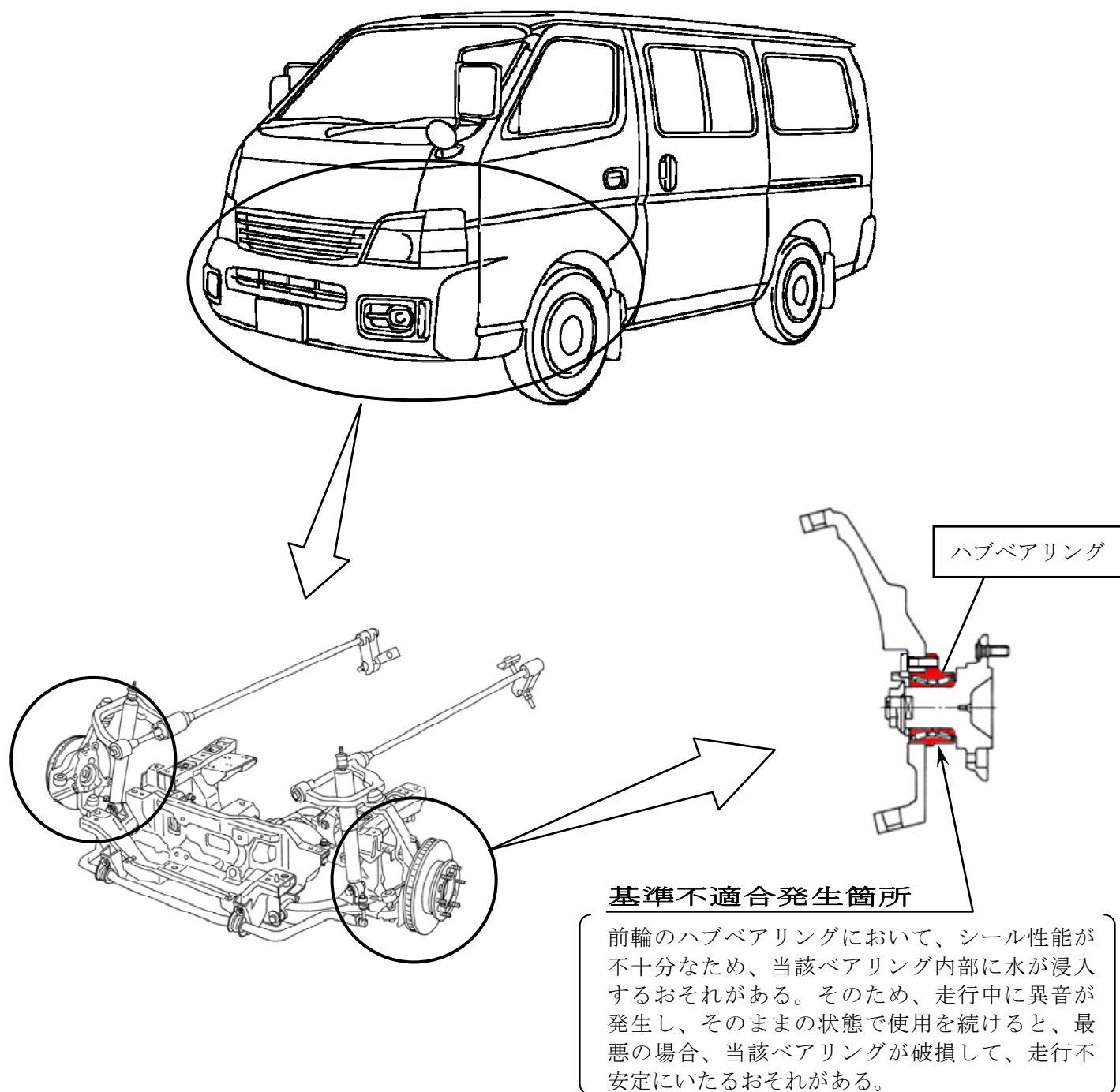


改善箇所説明図①



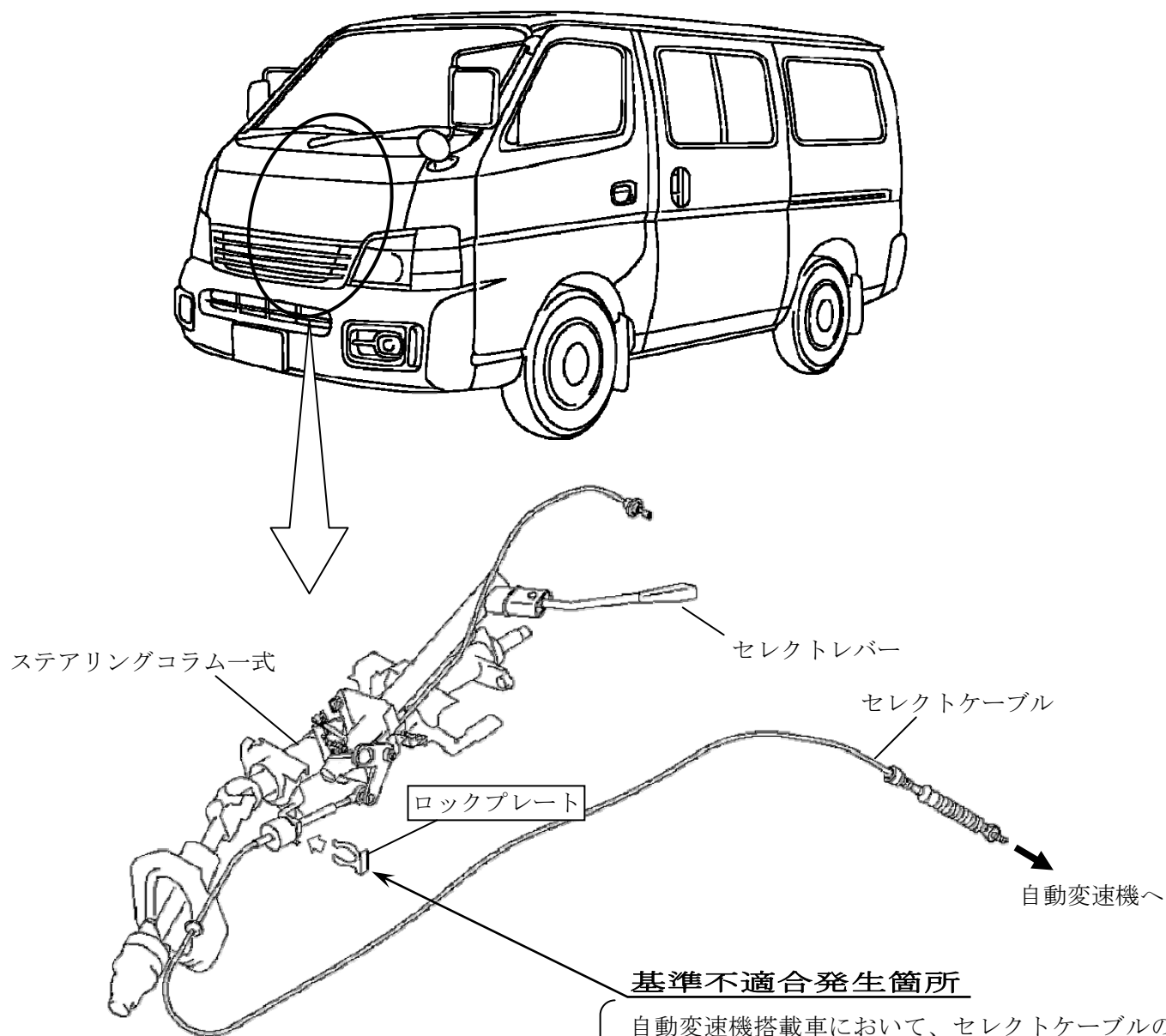
改善の内容

全車両、当該ハブベアリングを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートに貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。

改善箇所説明図②



自動変速機搭載車において、セレクトケーブルの固定方法が不適切なため、運転者の足が当該固定部に当たって固定が外れるおそれがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、セレクトレバーを操作しても自動変速機が変速しなくなるおそれがある。

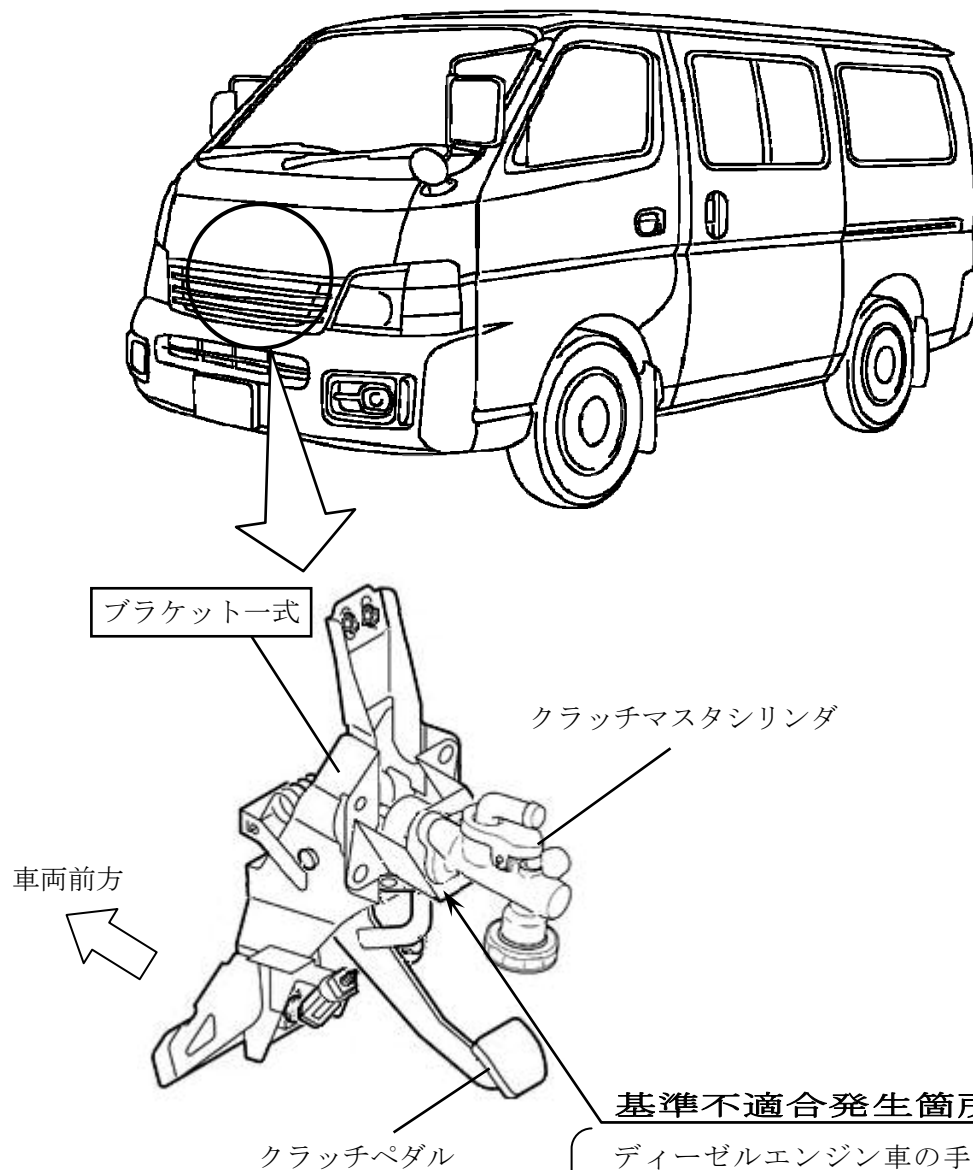
改善の内容

全車両、セレクトケーブルを固定するロックプレートを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。

改善箇所説明図③



基準不適合発生箇所

ディーゼルエンジン車の手動変速機搭載車において、クラッチペダルブラケットのマスターシリンダ取り付け部の強度が不足しているため、クラッチ作動時の抵抗が増大した状態で使用を続けると、当該ブラケットが破損し、最悪の場合、クラッチが切れなくなるおそれがある。

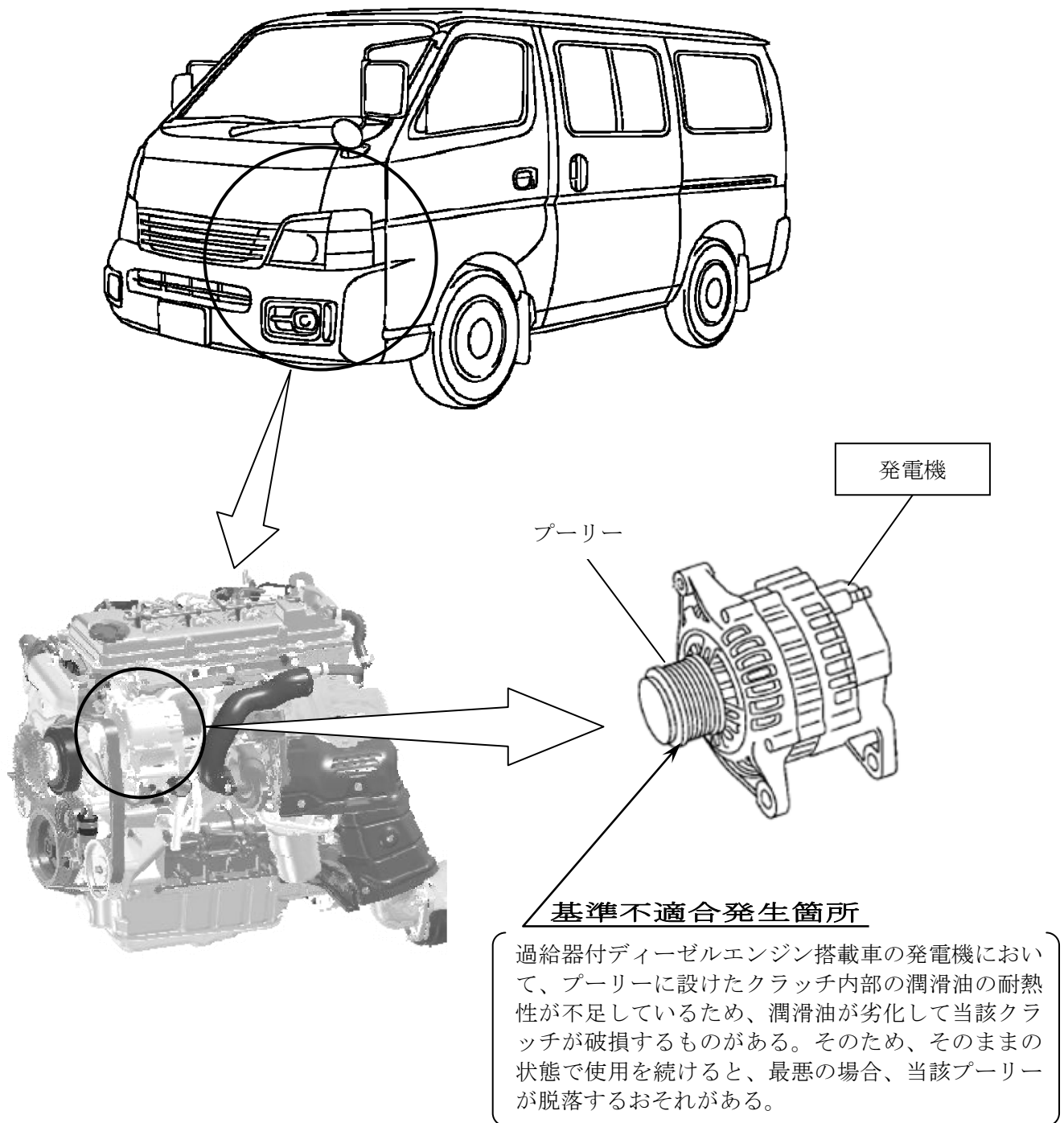
改善の内容

全車両、当該クラッチペダルブラケットを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。

改善箇所説明図④



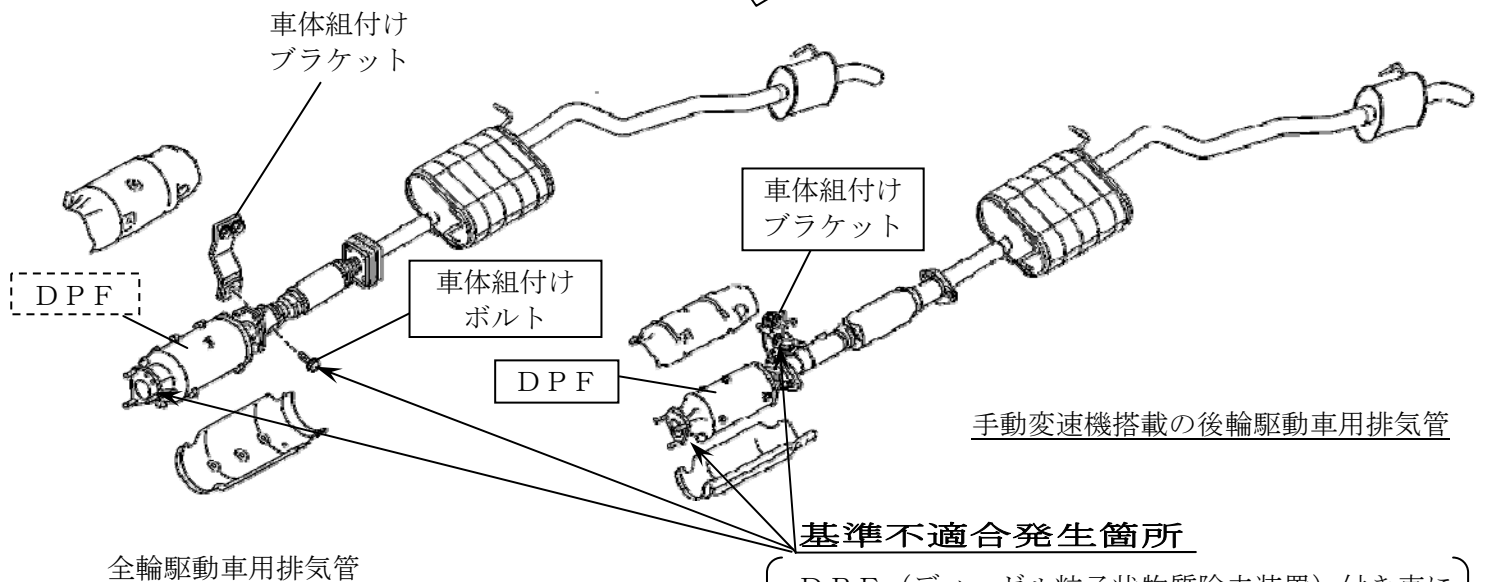
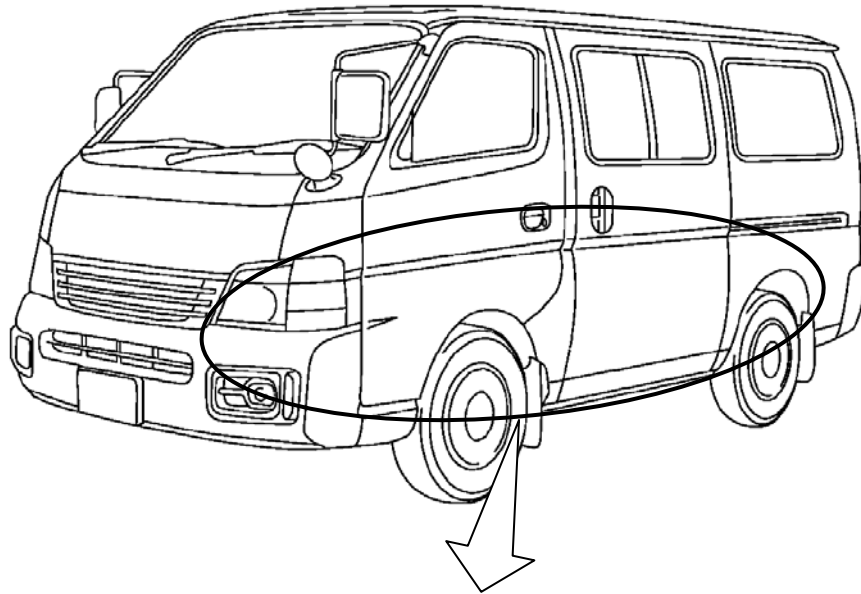
改善の内容

全車両、当該発電機を対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。

改善箇所説明図⑤



DPF（ディーゼル粒子状物質除去装置）付き車において、手動変速機搭載の後輪駆動車ではDPFおよび車体組付けブラケットの強度が不足しており、全輪駆動車では排気管の車体への組付けが不適切なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、DPFフランジ部に亀裂が発生して騒音が増大し、排気ガスが漏れるおそれがある。

改善の内容

手動変速機搭載の後輪駆動車は全車両、DPFおよび当該組付けブラケットを対策品と交換する。全輪駆動車は全車両、当該ブラケットの締付ボルトを新品に交換するとともに、DPFフランジ部の亀裂有無を確認して、亀裂が発生している場合は、DPFを対策品に交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートに貼る。

注： は、交換部品を示す。 は、点検結果により交換する部品を示す。